

【特別講義実行委員会 令和元年度計画（特別講義実行委員長 堀田 光）】

千葉工業大学から要請の特別講義について、令和元年度の予定について以下に示します。

令和元年度も千葉工業大学から、特別講義の要請がありました。対象学科は、工学部の情報通信システム工学科と電気電子工学科、創造工学部の都市環境工学科ならびに先進工学部の知能メディア工学科の4学科からです。以下に特別講義内容を示します。

1. 工学部 情報通信システム工学科

工学部 情報通信システム工学科の中静 教授から特別講義の要請があり、千葉工業大学技術士会として対応を致します。同学科の特別講義内容を以下に示します。

(1) 講義名：「技術士倫理」に関するレクチャー

(2) 講義の主旨：4年生を対象とした技術講習

※ 中静教授からの要望：情報通信システム工学科ですので、電気・電子系、情報系をお願いしたいところですが、分野を問わず、技術者倫理に関するご講演を頂ければと思います。

(3) 講義対象者：情報通信システム工学科の4年生の学生を対象

(4) 講義概要：令和元年5月20日（月）から2回 @津田沼キャンパス

1) 令和元年5月20日（月） 13:10～14:40 （3限）

講師：久多羅木 吉治 氏 （技術士（建設部門） 所属：東亜建設工業（株））

講義題目：「国際規格と相互認証の動向」

講師のコメント：益々グローバル化するこれからの国際社会に対し、「APEC エンジニア」、「EMF 国際エンジニア」の両資格に関する最新の動向を解説するとともに、これらの制度と仕組みについて、説明をしました。

2) 令和元年5月27日（月） 13:10～14:40 （3限）

講師：小笠原 睦 氏 （技術士（情報工学部門） 所属：（株）コーエイシステム）

講義題目：「情報管理、システム等をキーワードとした最先端技術」

① 学生時代の勉学と社会人のつながり

② 資格取得の奨励 ----- 技術士への道、技術者倫理

③ 就職に際しての備え

④ 情報処理業界の動向 ----- 近年の技術動向の紹介

講師コメント：資格取得のメリット、就活に対するアドバイスについて説明を行い、一般的な資格取得および技術士資格取得の意義について、また、社会人に成るに向けての「備え」について説明を行いました。

2. 創造工学部 都市環境工学科

創造工学部 都市環境工学科の講義として内海教授から特別講義の要請があり、千葉工業大学技術士会として対応を致します。同学科の特別講義内容を以下に示します。

(1) 講義名：「キャリアデザイン3」

(2) 講義の主旨：3年生を対象とした必須科目で、「技術士取得のすすめ」を講義

(3) 講義対象者：創造工学部 都市環境工学科3年生の学生約110名を対象

(4) 講義概要：令和元年6月10日（月）10:50～12:20 （2限）@津田沼キャンパス

講師：町田 文男 氏 （技術士（建設部門） 所属：（株）ジオプラン）

- ①『技術士とは?』を説明して、何故目指すのか(動機付け)を説明した。
- ② 技術士取得のプロセス: 技術士取得にあたってのプロセスを順次立てて説明した。

3. 工学部 電気電子工学科

工学部 電気電子工学科の相知教授から特別講義の要請があり、千葉工業大学技術士会として対応を致します。同学科の特別講義内容を以下に示します。

- (1) 講義名: 「技術士倫理」に関するレクチャー
- (2) 講義の主旨: 3年生を対象とした技術講習

※ 相知教授からの要望: 12週連続の講義をお願いしたい。この授業では、専門的な知識と技能を持つ技術者として、社会的責任をどのような形で果たさなければならないか、判断の基準として何を中心に置くかということを学ぶものとしています。ビジネス経営における「企業倫理」、科学や技術そのもののあり方について論じる「科学倫理」、「技術倫理」についても、技術者の行動と関連があるので説明して頂きたい。

- (3) 講義対象者: 電気電子工学科の3年生の学生を対象
- (4) 講義概要: 令和元年9月30日(月)から12週連続。

14:50~16:20(4限)で、単位数は2単位、必須科目。

講師: 小久保 優 氏 (技術士(建設部門・環境部門) 所属: 小久保都市計画事務所)

4. 先進工学部 知能メディア工学科

先進工学部 知能メディア工学科の苜木教授から特別講義の要請があり、千葉工業大学技術士会として対応を致します。同学科の特別講義内容を以下に示します。

- (1) 講義名: 「技術士倫理」に関するレクチャー
- (2) 講義の主旨: 3年生を対象とした技術講習

※ 苜木 教授からの要望: 単に倫理的な話ではなく、社会人として会社・組織とはなどを含めてお話し頂けることを期待しております。勿論、技術士の宣伝を含んで頂けますと幸いです。

- (3) 講義対象者: 知能メディア工学科の3年生の学生約40名を対象
- (4) 講義概要 令和元年12月11日(水)から2回 @津田沼キャンパス

- 1) 令和元年12月11日(水) 9:10~10:40 (1限)

講師: 久多羅木 吉治 氏 (技術士(建設部門) 所属: 東亜建設工業(株))

講義題目: 「国際規格と相互認証の動向」

講師のコメント: 益々グローバル化するこれからの国際社会に対し、「APEC エンジニア」、「EMF 国際エンジニア」の両資格に関する最新の動向を解説するとともに、これらの制度と仕組みについて、説明を行う。

- 2) 令和元年12月18日(水) 9:10~10:40 (1限)

講師: 堀田 光 氏 (技術士(建設部門) 所属: 堀田技術士事務所)

講義題目: 「資格取得」と「地震被害調査結果に学ぶ」について講義

講師コメント: ①『技術士』資格の現状と取得に際しての留意点などを説明する。② 技術士としての経験談: 『耐震設計』、『地震被害調査結果に学ぶ』などを説明する。

以 上